

第2回 添川小学校学校運営協議会記録

令和6年11月8日（金）

13:30～15:30

協議等の内容

（1）前期の学校運営について

○校長が資料に沿って説明（内容は省略）

（2）委員等の方より

- ・ 友人にも不登校の子がいたが、今は就職している。不登校児童は、なぜ行けないのかわからないことが多くて難しい。
- ・ （直前に行った「収穫祭」の）芋煮ごちそうさまでした。学習発表会もよかった。感謝の気持ちを発表できる姿、ありがたい。見守りの気持ちを継続していきたい。
- ・ とても素晴らしい子ども達である。先日の持久走大会での応援の姿。今日の準備でも「おいしい芋煮作ってね。」「おう。」などの声がけ。卒業までいい姿で、このまま成長してほしい。
- ・ とも学びができるということは子ども達が育っているから。複式のメリットである。単式だと教員の見守りの中だけでの学びとなり、デメリットとなる面もある。今の良さを引き継いでいただきたい。
- ・ 添川の子は飯豊中でも活躍している。自分達で考えてやってきたことの積み重ね。
- ・ 毎月の公民館での打ち合わせでも話題になるが、今年の飯豊中の生徒会長は添川小出身。他の役員にも添川小出身者が名を連ねている。小規模校の出身者は前に出られないと言われたこともあったが添川小はそんなことはない。
- ・ 大人になってから社会参加できないのは不幸なこと。現在不登校になっている子どもについては、いろいろな支援を得て成長してほしい。

（3）見守り隊のあり方について

- ・ 白鷹町、高畠町のような下校後の事故（強盗）もある。その場合の対応については、この会ではなく地学協協働本部で話し合うべきことかもしれないが。
- ・ 以前勤めた学校では、下校時に地域全体で見守る状況があった。下校時の地域へのLINEなどあればよいのでは。
- ・ 低学年だけの下校のところなど大変と思う。地域の人から声をかけてほしい。負担にならないような見守りを。
- ・ 地域内の各種団体で無理のない形で。地域全体でよりそう。ポイントは声がけ。標語などがあればよりよいか。
- ・ 事件があれば、防災ラジオなど広く伝わる方法を活用してほしい。
- ・ 第二小も負担のないようにと言っている。固定化している地区もあるようだが。組織所属の人に毎日の見守りを強制するのではなく、できる範囲でとしているのが長続きしている理由か。
- ・ 近隣町での強盗事件の時、防犯パトと安協がそれぞれ動いていたが、学校に伝わっていなかったそう。飯豊町の学運協で横の共有をしてほしい。防犯ラジオを使えば有効では。
- ・ 見守りの第一は顔見知りになること（前回の発言にもあり）。東山地区では地区の活動には子どもを連れてきていると聞いている。
- ・ 田んぼで作業中の人と下校中の子が挨拶している姿がよいと地域から電話がきたことがある。微笑ましいことだ。

(4) その他 なし

5 その他

(1) 義務教育学校の準備について（町教委）

- ・ 分離型から一体型での開校を目指すことになった。見通しが甘かった。
- ・ 飯豊中では増築が必要。財源、工期を考えると開校を延期せざるを得ない。
- ・ 町内 PTA 会長で話し合いをしている。意見を伝えていきたい。
- ・ 新町長さんの考えでは第一小を残したい意向であることを新聞で見た。それ以外の小学校の保護者の考えはどうなるのか。あと2年と頑張っって学校に協力している高齢の地域の方もいる。第二小を工事すれば添川小と手ノ子小の児童が入れるのではないか。
- ・ 提案がいろいろ変わって不信感が出てきたと思う。正しい情報を教えてほしい。

(2) その他

- ・ 見守り活動に関して、委員の方から「各種団体で」という提案があったことはありがたい。「あと2年」だと、「個人」は大変。「団体」だと受けてもらいやすい。
- ・ 義務教育学校に「地域学習・活動」として残したいものとして、緑の少年団、水芭蕉開園式参加をあげている。少年団は県の下部組織なので、少年団を必ず学校に残すということではなく活動を残す方向で考えている。
- ・ 現在第一小で実施している千倉交流会の存続に関しては検討会を組織して検討している。11月末に3回目の会議を予定していたが中止（無期延期）とした。町長が変わったので今後の方向性を見極めているところである。